

はつらつ
ところっこ

一生懸命やるから落ち込む。だから強くなる。



©ブロンコス20

さいたまブロンコス所属

いまいけ しょうた
今池 翔大さん（市内出身）

市内出身の今池さん。大学時代は航空記念公園のバスケットコートでシュート練習をしたり、狭山湖でランニングをよくしていたそう。

現在は、練習のない日はサウナや銭湯、映画館などで1人の時間をつくりリラックスするよう心がけている。

memo



▲今池さんのInstagramはこちら



▲さいたまブロンコス公式HP

プロバスケットボールチーム「さいたまブロンコス」に所属し、ゲームの司令塔であるPG（ポイントガード）として活躍。正確なボールさばきと冷静な判断力、ときには自ら攻め込み得点を奪いに行くスタイルでチームに貢献するのが、プロバスケットプレイヤーの今池翔大選手だ。

小学生時代は家族の影響で野球を楽しんだり、休み時間は友だちとバスケットやサッカーを楽しんだり、とにかく体を動かすことが大好きだったという今池さん。特にバスケットが一番楽しく、小学3年生のころに小手指のミニバスクラブに入部し、バスケットにのめり込んでいった。

ある日のこと。ブロンコスの選手が市内の小学校を回りバスケットを教えてくれるバスケット教室が開かれた。プロのバスケット選手と触れ合ったことで、「いつか俺もプロになってみたいな」と、そんな淡い夢を持ち始めた。

中学生になると、抜群のセンスでめきめきと頭角を現す。次第に「もっと上を目指したい」と思うようになり、卒業後は毎日片道2時間をかけ、神奈川県内にあるバスケット強豪校に通うことを決断した。そしてこの決断が、今池さんのターニングポイントとなる。

強豪校なだけあって、個々のレベルが

中学とは各段に違い、さっそく壁にぶつかる。思い通りのプレーができない。パスが通らない。モヤモヤしたまま家に着くのは夜10時過ぎで、その日のプレーの振り返りもできないまま、朝6時の電車に乗る毎日の繰り返し。順調だったバスケット人生だが、初めて挫折を味わった。

しかし、絶対に諦めなかった。往復4時間かけて通学することに対して優しく背中を押してくれた家族のため、毎朝自分よりも早く起きてお弁当を作ってくれる母のため、必死に食らいつき、見事スタメンでの試合出場を果たした。

「もし近場の高校を選んで、挫折することもなく、試合にも勝ってバスケットに満足していたら、今の自分はいなかった。厳しい道を選んで悔しい日々があったから今がある」と今池さんは言う。

大学でもバスケットで活躍し、卒業後は憧れだったさいたまブロンコスの練習に毎日参加させてもらえるようになった。そして2024年11月、さいたまブロンコスへの入団が決まった。

今後の目標を聞くと「まずは今年のリーグチャンピオンになること。もう一つの目標は、所沢で出歩けなくなるくらい有名になって、所沢と言えば今池翔大！みたいになれば嬉しいです。ちなみにライバルは同じ観光大使の春日さんです！」と、冗談を交えながらも、熱い思いを語ってくれた。

今シーズンの所沢市での試合は残すところ来年1月と2月のあと2回。所沢市出身のプロバスケット選手今池翔大さんを、市全体で応援しましょう！（取材：関）

今月のプレゼントクイズ！

8月からメニューの数が大幅アップ！

角川食堂ランチビュッフェ ペア利用券

(4,960円相当×5組)



最大75種が味わえるビュッフェ。目玉は、自家製ロースト肉や野菜たっぷりのデリ、オリジナルスパイスで作るカレーです。また、12月3日(水)からは冬のフードフェアを開催！家族と、友人と、大切な人と、ぜひご利用ください♪

●角川食堂
東所沢和田3-31-3
☎2003-7035
(午前11時～午後5時／
火曜定休)
◎ラストオーダーは午後4時。



◀営業時間などの詳細は同食堂HPをチェック

◆今月のクイズ

9・11・12面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると？

◆応募方法（12月10日(水)締め切り）

①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦12月号の感想を記入し、〒359-8501広報課（住所不要）に郵送・市HP（Qプレゼント）で応募

◎当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。



▲市HP

読者感想文

- 観光大使の皆さんからのメッセージがとても印象的でした。有名な方々の出身地である所沢市で自分も生まれ育っていることが、とても誇らしいと感じました（上新井・20代）
- 所沢の昔の風景の写真を見られて興味深かったです。また、ご高齢の方々の思い出も、昔の所沢の様子がしみじみと感じられて良かったです（若狭・40代）

編集から●11月号は、市制施行75周年特集。市観光大使の皆さんから、お祝いのメッセージをいただきました。他にも、市と同年の方たちによる座談会を開催し、市の思い出を語っていただいたりと、ぜひ特集となりました！

- 東京デフリンピック大会の記事を読んで、所沢ゆかりの選手お2人の応援にますます熱が入ります。かっこいい！（上安松・50代）
- 編集から●同大会の日本代表として、所沢から川畑選手と鈴木選手が出場しました！お2人は、はつらつところっこにも登場していただいています。▶川畑選手…令和4年9月号▶鈴木選手…令和7年9月号

- 暮らすトコロマーケット発起人の岡田さんの思いを知れて、イベントが楽しみになりました！（くすのき台・30代）
- 編集から●実行委員長も務める岡田さん。魅力あふれるお店が並ぶ同イベントをお楽しみください♪

編集後記

プロバスケットボールプレイヤーとして活躍する今池さん。これまでの苦悩や所沢での思い出、プロの大変さなどをお話いただきました。高校生のときから、大事な試合やシーズン前には必ず行っている験担ぎ的なものがあるという今池さん。それは、お店でウナギを食べること。今池さんの迫力あるプレーは、過酷な練習やトレーニングだけでなく、「ウナギ」の力も関係している…？（関）

私の実家は両親しか住んでおらず、今回の特集はまさに自分事でした。両親はまだ元気ですが、高齢なので何かしら決断する日も遠くないと感じます。まずは、兄弟で相談しようと思いました（上地）

寒い日が増えてきましたね。本号12面を読み、あったか&省エネに、冬を過ごしましょう。私流の防寒対策はおでんと日本酒。皆さんの防寒対策も教えてください（深町）